

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■第58回教育映像祭「夏休み子ども映画フェア—わくわく・ドキドキ!夏休みの思い出を!—」

平成23年8月19日(金)、東京・文京区シビックホールにおいて、日本視聴覚教育協会・東京都小学校視聴覚教育研究会主催による映画会を開催する。上映作品は、「ヘレンと共に—アニー・サリバン—」「お母さん、なかないで」(学研教育出版)、「金色の足あと」(東映)、「約束 アフリカ・水と緑」(桜映画社)、「しあわせの王子」(北星)の5作品。参加希望者は、往復ハガキにて申し込む(本誌37頁参照)。(写真は昨年の様子)

協会情報

■ 東日本大震災における救援募金についての御礼

日本学校視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会、全国視聴覚教育連盟、日本視聴覚教具連合会の視聴覚教育関係4団体および、(財)日本視聴覚教育協会が呼びかけて行った標記救援募金は、平成23年3月25日から5月25日の間に、総額90万円に達し、このほど、日本赤十字社に寄附いたしました。ご協力いただきました方々に、御礼申し上げます。

■ 平成23年度教育映像祭「優秀映像教材選奨」に95作品が参加

(財)日本視聴覚教育協会では、毎年、教育に利用される映像教材の製作振興と利用の向上進展を図る目的で、標記選奨を開催している。

今年度は、メディア別の構成を改め、小学校(幼稚園含)、中学校、高等学校部門においては、教育映像(映画・ビデオ・DVD)及び教育映像コンテンツ(コンピュータソフトウェア)の別とした。

参加作品数は次の通り。()内はメディア別本数。

1. 小学校(幼稚園含)部門【教育映像】 39(ビ

デオ3、DVD36)【教育映像コンテンツ】 7(DVD6、CD1)

2. 中学校部門【教育映像】 6(DVD6)【教育映像コンテンツ】 0

3. 高等学校部門【教育映像】 3(DVD3)【教育映像コンテンツ】 0

4. 社会教育部門【教育映像】〔家庭生活向〕 8(DVD8)〔市民生活向〕 11(ビデオ1、DVD10)

5. 職能教育部門【教育映像】 11(DVD11)

6. 児童劇・動画部門【教育映像】 1(DVD11)

7. 教養部門【教育映像】 9(映画1、DVD8)

なお、本コンクールの表彰式は、平成23年10月14日(金)、東海大学校友会館(千代田区霞ヶ関3-2-5)において行われる。

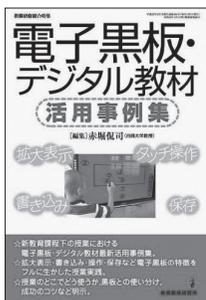
AV情報

■ 2011年の夏休み こども映画館☆

東京国立近代美術館フィルムセンターでは、映画のおもしろさを発見させる標記の教育プログラムを開催する。

〈日時〉平成23年7月29日(金)・30日(土)、8

▶ブックレビュー



「電子黒板・デジタル教材活用事例集」

赤堀侃司著
教育開発研究所
2011年2月発行 A5判 208頁
2,520円(税込)

今、どの学校に行っても1台は電子黒板がある。学校によっては、既に全教室に電子黒板があり、その波は、やがて全校に広がって行くと思われる。今後、教室に電子黒板が導入されたときに、どのように活用するか、その答えが本書にはある。

本書は「I部 基本的課題」「II部 実践事例編(小・中学校編)」「III部 Q & A」の3部構成である。

まず、I部では、電子黒板の学習効果、活用の留意点、活用するための研修など電子黒板のことが論理的に詳しくわかるようになっている。各テーマごとに3つのポイントにまとめた「要点整理」があり、ここを読むだけで大切なことが浮き上が

ってくる。

II部は、本書の中心である実践編。各事例は、各4ページにまとめられており、この手の本にありがちな指導案形式でなく、実際に授業をしている状況を文章でコンパクトにまとめている。

項目にも特徴があり、「成功のためのコツ」や「課題」を読めば、「よかった」「効果があった」という話だけではなく、具体的にどうすれば電子黒板を有効に活用できるかがよくわかる。また、「管理職にしてほしいこと」の項目は、管理職だけでなく、特に行政関係の方にも読んで欲しい内容である。

III部では、「電子黒板が1台の場合の活用方法」「電子黒板を使うと学力は上がるか」等、なかなか聞けないQ & Aが収められており、納得しながら読める。

そして、全編を通していえるのは、電子黒板が教室でいかに活用できる教具であるかが明らかになる。

普通の教室で、こうした機器をちょっと活用すれば、誰にでもよい授業が実践できそうに感じることができる、お勧めの一冊である。

(千葉県船橋市立若松小学校教頭 秋元大輔)

月5日(金)・6日(土)、13:30~15:30(13:00開場)
〈場所〉 東京国立近代美術館フィルムセンター小ホール(東京都中央区京橋3-7-6)
〈内容〉 さまざまな映画作品の上映や映画に関連する展示を学芸スタッフの解説とともに鑑賞する。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.momat.go.jp/kids/KIDS-MOMAT2011/index.html>
〈問い合わせ先〉 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6フィルムセンターこども映画館係
TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)

田4-13-13)
〈対象〉 小中学校教員・幼稚園教員等。
〈内容〉 基調講演、講演、事例発表と解説、ワークショップなど。詳細は、下記を参照のこと。
http://sainou.or.jp/imets/index.php/page/i_forum
〈問い合わせ先〉 (公益)才能開発教育研究財団
教育工学研究協議会フォーラム事務局
TEL 03-5741-1311

■「教師のためのインターネット活用教室—情報セキュリティの基礎知識—」「教師のためのデジタル表現入門教室」

国立大学法人東京学芸大学では、標記2講座を開催する。

○「教師のためのインターネット活用教室—情報セキュリティの基礎知識—」

〈日時〉 平成23年8月5日(金) 10:00~15:50

○「教師のためのデジタル表現入門教室」

〈日時〉 平成23年8月29日(月) 10:00~17:00
〈会場〉 東京学芸大学総合メディア教育館(東京都小金井市貫井北町4-1-1)

〈内容〉 講義、実習、議論など。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.u-gakugei.ac.jp/seminar/>

研究会情報

■ IMETフォーラム2011・第38回教育工学研修中央セミナー

(公益)才能開発教育研究財団では、「確かな学力をささえる学びの基盤づくり—学習規律、家庭学習、教師の力量、ICT活用の充実を通して—」をテーマに、標記セミナーを開催する。

〈日時〉 平成23年8月4日(金)・5日(土) 9:15~16:30
〈会場〉 東京都港区立三田中学校(東京都港区三

〈問い合わせ先〉 東京学芸大学総務部広報連携課
地域連携係 TEL 042-329-7119 (受付 平日
8:30~17:15) MAIL renkei@u-gakugei.ac.jp

■ FCT第14回メディア・リテラシー研修セミナー「東日本大震災とメディア・リテラシー」

NPO法人メディア・リテラシー研究所主催により、メディア・リテラシー活動の担い手となる人々を育成するための標記セミナーを実施する。
〈日時〉 平成23年8月6日(土) 10:00~18:00、
7日(日) 10:00~16:30
〈会場〉 神奈川県立かながわ女性センター(神奈川県藤沢市江の島1-11-1)

〈内容〉 講義とワークショップ等。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.mlpj.org/fs/index.shtml>
〈問い合わせ先〉 NPO法人メディア・リテラシー研究所 FAX 0466-81-8307 MAIL info@mlpj.org

コンクール情報

■ 第7回「プリントコミュニケーションひろば」コンクール審査発表

(公財)理想教育財団では、学校におけるよりよいコミュニケーション環境の醸成をめざし、各種通信の編集・制作の質を高めることを目的に、本コンクールを開催し、今回は、470点の応募が寄せられ、最優秀賞・理想教育財団賞に、学級通信「翔ける2(かけるに)」(滋賀県立彦根翔陽高等学校)が、他、優秀賞、審査委員特別賞などが決定した。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.riso-ef.or.jp/print_comu_results_2011.html
〈問い合わせ先〉 (公財)理想教育財団
TEL 03-3575-4313

■ 「地方の時代」映像祭コンクール作品募集

「地方の時代」を切り開くために寄与した映像作品の交流と顕彰を目的として開催される標記コンクールでは、作品を募集している。

〈部門・対象〉 「放送局部門」「ケーブルテレビ部門」「市民・学生・自治体部門」「高校生部門」の4部門。詳細は、下記を参照のこと。

<http://regionalism.jp/entry/index.html>
〈賞〉 すべての部門から、グランプリ1点、賞金100万円、各部門において、優秀賞、選奨を数点他。
〈締切〉 平成23年7月31日(日) 消印有効。審査結果は、9月下旬に、各入選者に通知。
〈問い合わせ先〉 「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-6363-3874

文部科学省選定作品

- 5月選定 紙しばい ビデオ DVD
「探梅(たんばい)一春、遠からじ」 42分(中学校、道徳・特活 高等学校、特活/青年・成人、地域社会生活(人権)) 東映(株)
- 「宮沢賢治の生涯」 60分(高等学校、国語/青年、教養・情操(文学)) キャピタルピクチャーズ
- 「水産物の有効利用・高度利用—広がる水産物の可能性—」 26分(高等学校、水産) (株)CNインターボイス
- 「新しい自転車の交通ルール 魔法国からの使者」 15分(少年、地域社会生活(交通安全・防犯)) (有)鹿児島文化企画
- 「里湖 八郎潟物語」 88分(青年・成人、教養) (株)群像舎
- 「検証・急増する高齢者の熱中症 正しい知識を身につけよう」 19分(成人、地域社会生活(地域の保健・福祉)) (株)映学社

放送番組

中学生日記

- (金) 19:25~19:55 / NHK教育 全国
- (土) 9:30~10:00 / 再放送 NHK総合 中部7県
- (土) 12:30~13:00 / 再放送 NHK教育 全国(除く中部7県)

※都合により番組内容が変更となる場合があります。

- 1日 シリーズ・夏恋 夏きゅん! デイズ—恋って何!? (前編) —
- 8日 シリーズ・夏恋 夏きゅん! デイズ—恋って何!? (後編) —
- 15日 発掘! 全国“ナイ中” 凶鑑
- 22日 シリーズ 神様検索 実況少女
- 29日 特集番組のため休止

短信

■ 株式会社リュック(代表取締役 安藤洋志氏)は、平成23年6月30日をもって、解散することとなった。